



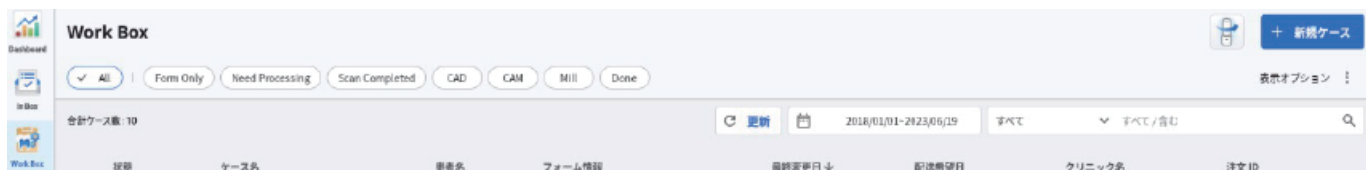
Tech manual

Medit Link

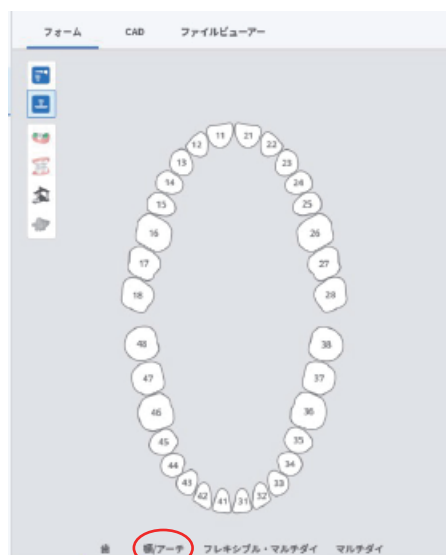
Identica T710 レプリカデンチャースキャン

① ケースの作成

MeditLink 内の Work box から新規ケースの作成を行う



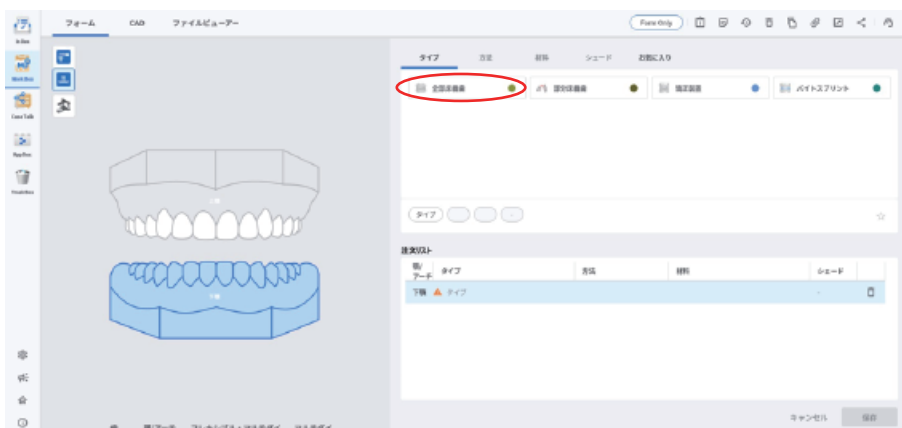
MeditLink 内の Work box から新規ケースの作成を行う



レプリカデンチャーを作成する額を選択



タイプから全部床義歯を選択



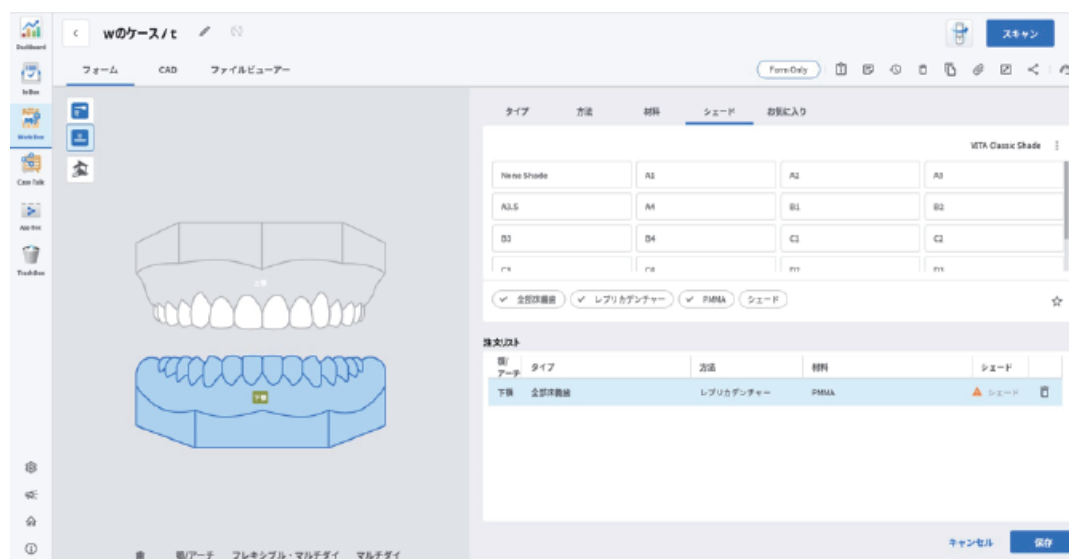
方法からレプリカデンチャーを選択



材料から使用する素材を選択



シェードは PMMA を選択した際に使用するものを選択

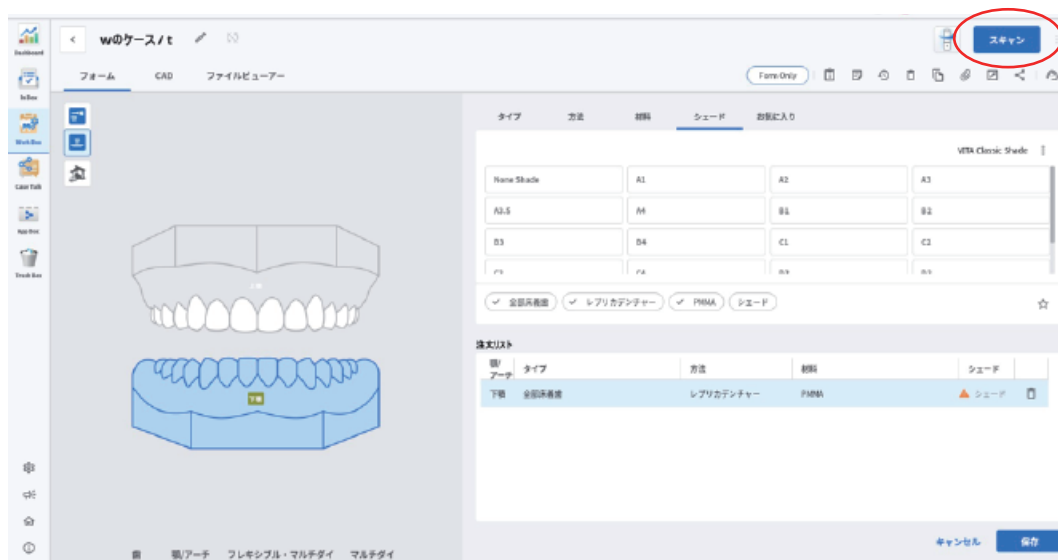


お気に入りはテンプレートに登録したケースを選択できる

② スキャン



反射を軽減するためにスキャンスプレー
もしくはスキャンパウダーをスキャン前に
塗布することを推奨



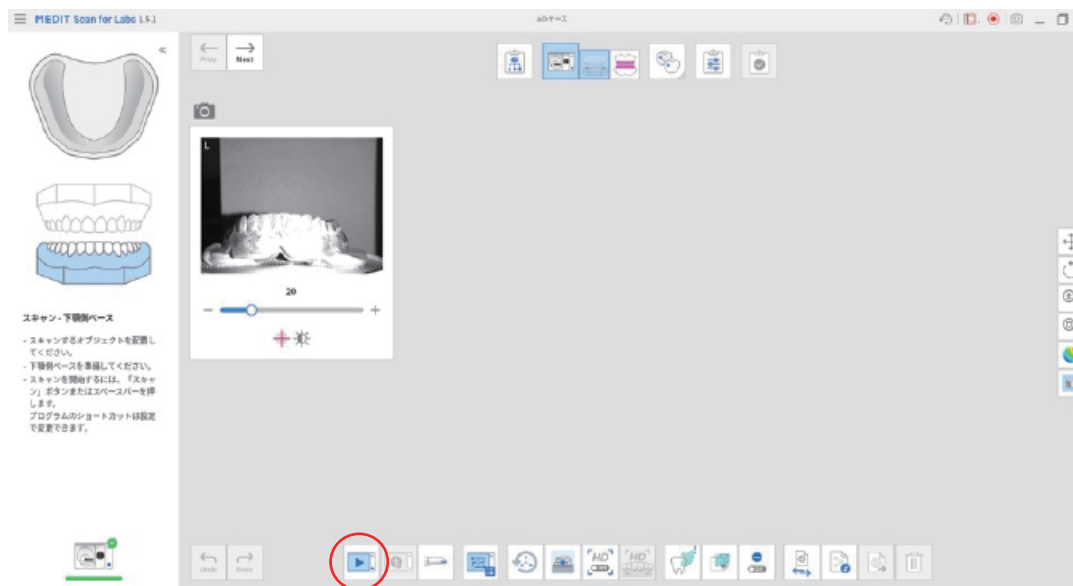
ケース作成が完了したら右上の「スキャン」を押してスキャンを開始



Medit Scan for Lab が開かれスキャン方法と手順プレビューが表示される

テクスチャーをオンにするとデンチャーの色をスキャンすることができる

「確認する」を押すとスキャン画面へ進む



画面左下にあるスキャン開始ボタンを押すとスキャン領域の調整に移る

スキャン開始を押すとスキャン領域の調整が行われる



※ここで模型の向きを正常にセットする

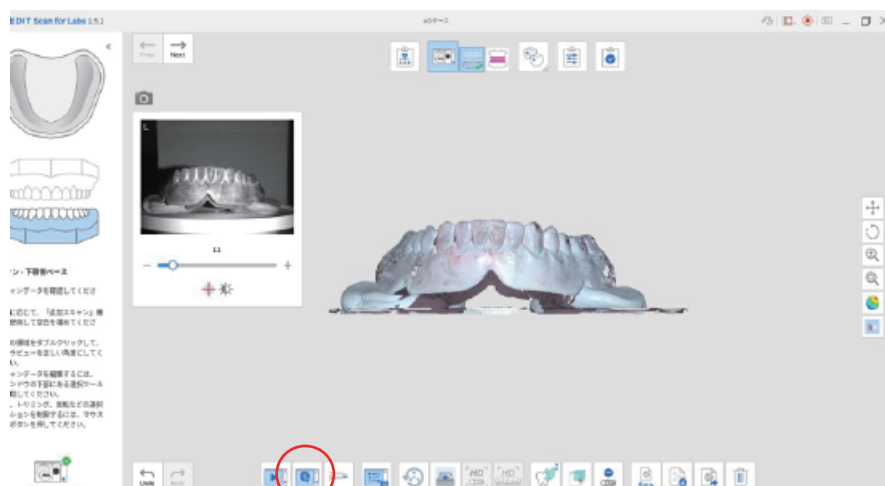
正しい向きでセットをしないと正常な認識がされない可能性がある
スキャンするモデルのエリアおよびサイドがカメラビューの中に
収まっているか確認する

右上のボタンから手動で高さを調整することもできる

青色のラインを参考に適切なスキャン領域を設定し「確認する」を
押すとスキャンが開始される

初めにデンチャー外面のスキャンを行う ※スキャン実行中はスキャナに触れない

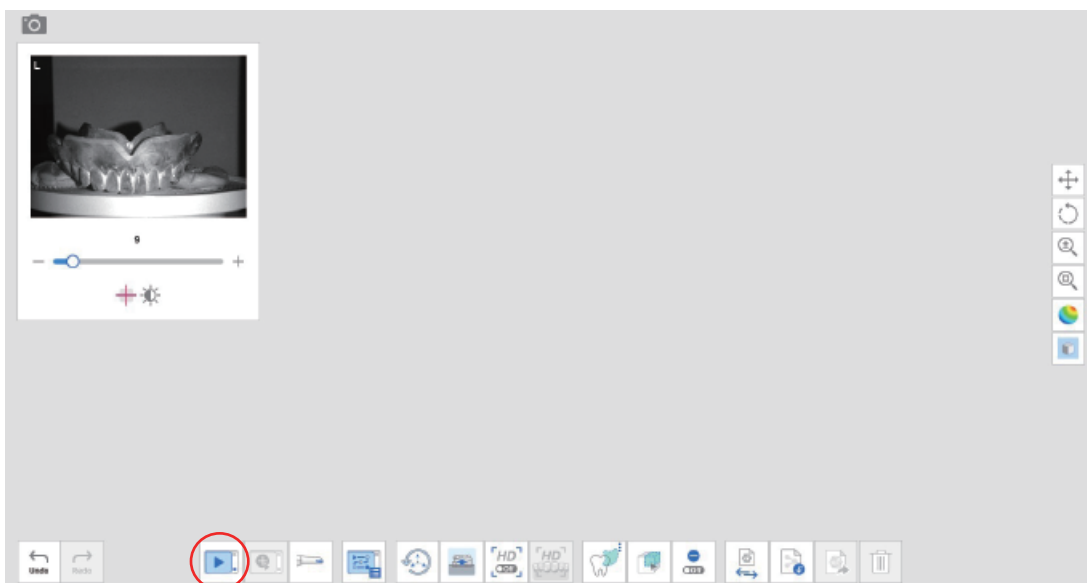
スキャン終了後追加スキャンを選択すると再スキャンか追加スキャンを行うか選択うできる



必要な領域が撮影できていない場合追加スキャンをする

次にデンチャー内面のスキャンを行う

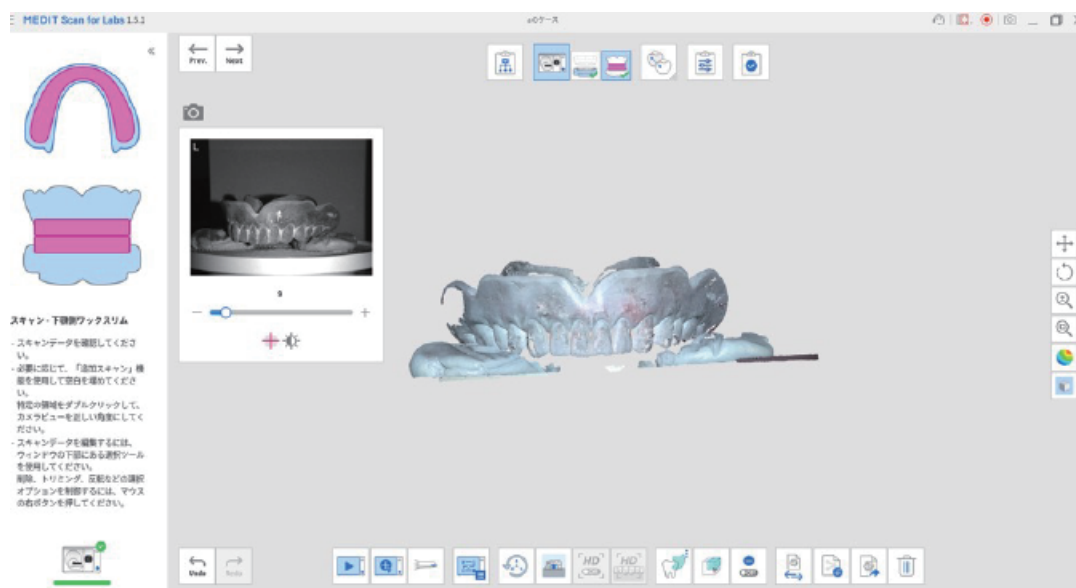
外面と同様模型をセットする



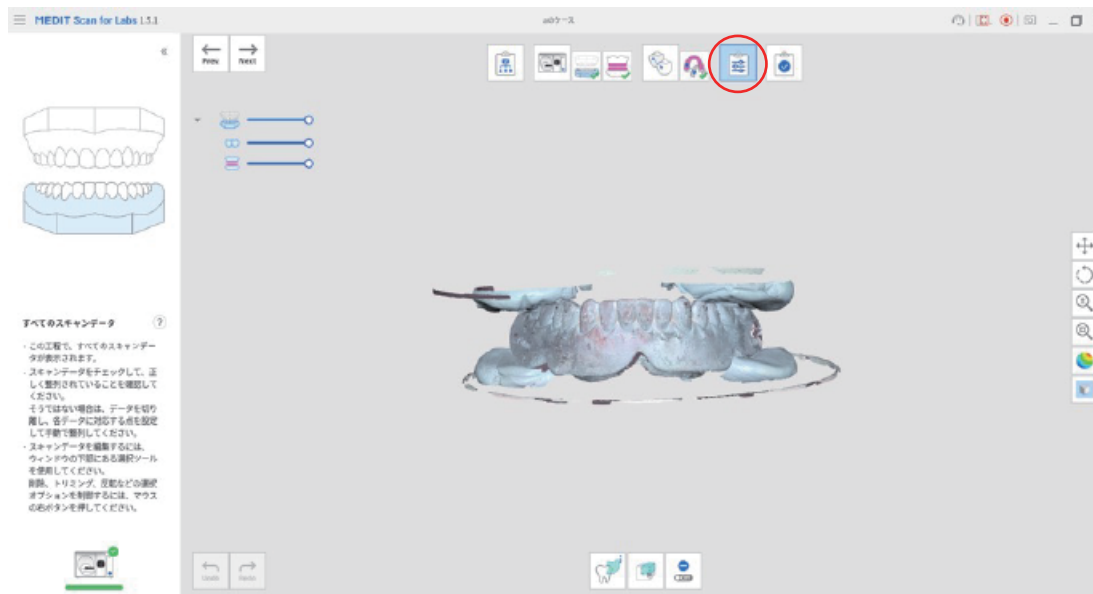
※スキャン実行中はスキャナに触れない

スキャン終了後追加スキャンを選択すると再スキャンか追加スキャンを行うか選択できる

必要な領域が撮影できていない場合追加スキャンを行う

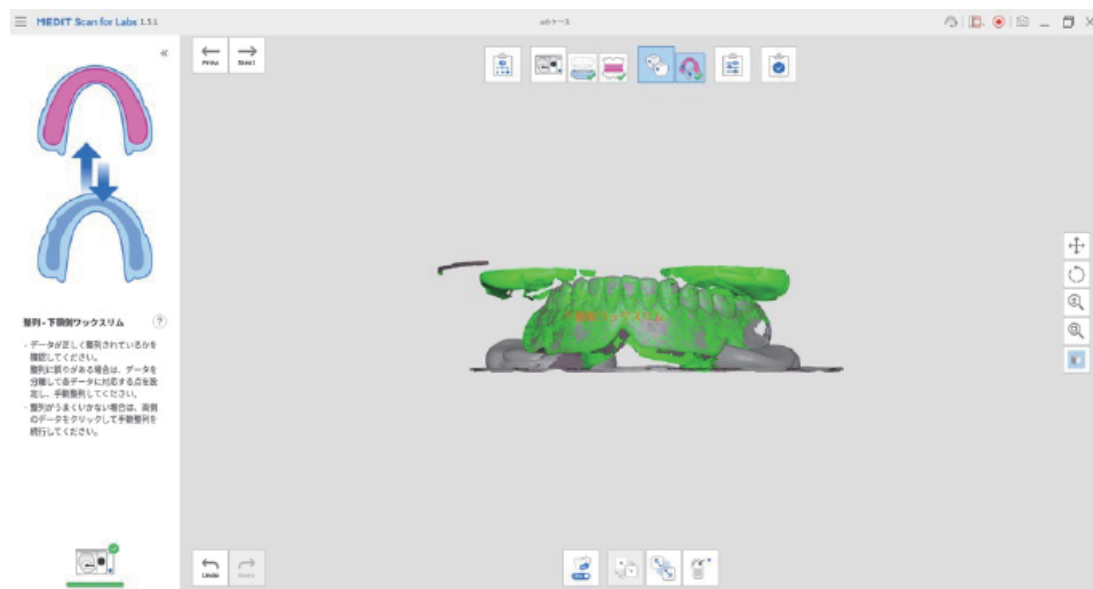


スキャン終了後データの整列・トリミングを行う

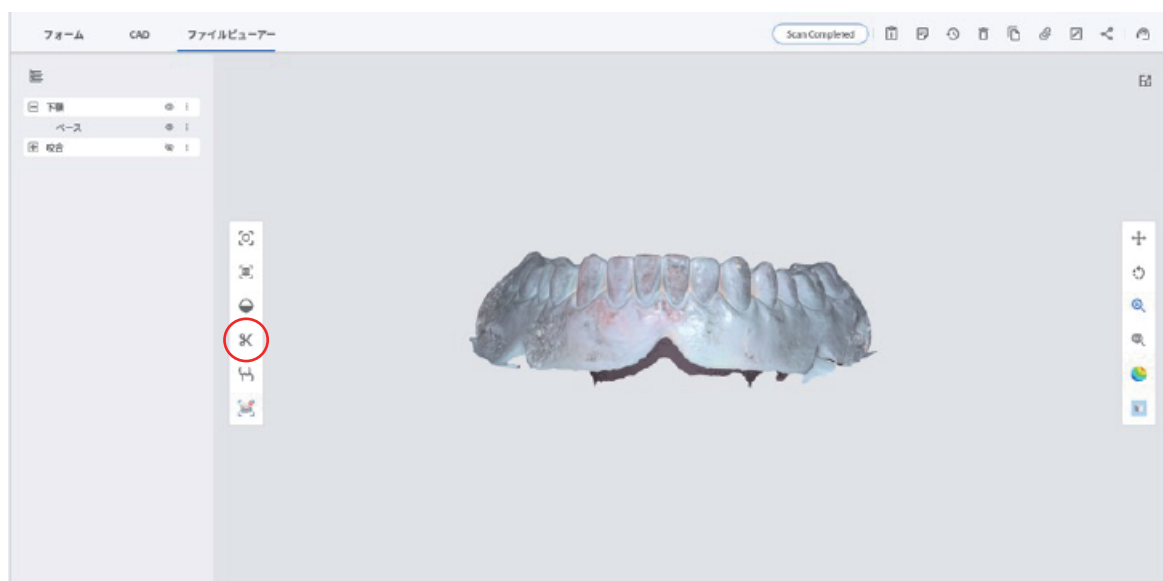


データの整列は自動と手動の二種類がある

- ・自動：データの整列に進むと自動的に整列が行われる / Align automatically から自動で整列することもできる
- ・手動：アライメントされたデータを「データを取り出す」を押して一度データを分離させる
分離した各データ上に対応する点を三点設定しデータの整列を行う
「完了」を押すとスキャンデータの補完についてオプションが出てくるので使用するものを選択する



③ スキャンデータのトリミング



スキャン完了後データの処理が完了したら、ファイルビューアーからスキャンデータのトリミングを行うことができる



保存を押すことでトリミングした内容が反映される